

北茨城民報

2004年10月17日

日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田1030-2
43-0468(福田)
42-2462(鈴木)

高萩・北茨城 工水企業団の累積欠損14億 借金残高は40億円を超える

中郷工業団地などに水を供給している「高萩・北茨城広域工業用水道企業団」の議会が九月二十九日開催され、平成一五年度の事業会計決算が審議されました。それによると、給水事業を開始した平成一〇年からの営業収支における累積欠損金は約一三億九〇〇〇万円に達し、依然として厳しい経営実体であることが浮きぼりになりました。企業債残高(借金)は下表のとおり四〇億円を超えています。

監査委員の意見書でも「小山ダム完成が目前に迫り、期待とともに減価償却費と企業債利息の支払いが費用化され、さらにダム使用者負担金も発生し大幅な損失が予想される」と述べざるをえない状況です。

当局の無責任答弁に厳しい批判あいつぐ

同事業団の議員である福田明市議は、「小山ダムの使用者負担金はどれぐらいになると予測しているのか」と質問。これに対して企業団当局は「県に問い合わせても何も言わないので、現段階では全くわかりません」と答弁。この答弁をめぐって高萩

ご相談は お気軽に



市議会議員
鈴木やす子
☎ 42-2462



市議会議員
福田 明
☎ 43-0468

「北茨城民報」はインターネットでもご覧になれます。
<http://www.5d.biglobe.ne.jp/~jcp-ktib/>

市議会から選出されている議員からも「そのような無責任な答弁は認められない」「企業長(北茨城市長)は県に対して、『使用者負担金の額を教えないなら払わないぞ』ぐらいの毅然とした態度をとるべきだ」と厳しい批判の発言があいつぎました。

平成一五年度決算に対して福田明議員は「小山ダム建設に毎年多額の財政を投入しているが、現状から見てダムは必要性のないもの」との立場で採決には反対しました。

企業債残高(借金)の一覧表 (単位:円)

| | |
|-----------|---------------|
| 財務省財政融資資金 | 1,553,225,659 |
| 公営企業金融公庫 | 1,574,615,318 |
| 市中銀行 | 7,680,000 |
| 未売水債 | 94,044,502 |
| 一般会計借入金 | 755,068,000 |
| 市町村振興資金 | 30,000,000 |
| 合計 | 4,014,633,479 |

大北川堤防の護岸ブロックが崩れる

早急な対応を県に申し入れ

観測史上最大級といわれる台風22号が関東を直撃し、北茨城市内でも河川の増水が見られ、自主避難された方もいました。

この影響もあつて市内を流れる大北川では、堤防のブロックが数十メートルにわたって崩れてしまいました。昨春秋、地元の方からの声を受けて日本共産党市議会が、護岸ブロックにヒビ割れ箇所が生じていることを指摘し、早急な対処を県に申し入れをした箇所でした。



県の土木事務所に申し入れ(10月12日)

昨年の申し入れの後、ヒビ割れ箇所にモルタルをふさぐ工事が施されましたが、抜本的な対策は先送りされて

いました。

党市議会では、あらためて県土木事務所に調査・改修を申し入れました。県土木事務所では、早急に現地を確認をし、対応を検討することを約束しました。

今回の台風で崩落した護岸ブロック



護岸ブロックにヒビ割れ
(昨年9月)

